

平成30年度 1月定例教育委員会議事録

1. 日時 平成31年1月25日(金) 13:30~15:30
2. 場所 コミセンおの 205号室
3. 出席者 教育長 陰山 茂
教育委員 西村賢一・小林道美・河嶋栄里子・藤本真理
事務局 橋本教育管理部長・小西教育指導部長
上原教育総務課長・松田いきいき社会創造課長
駒田スポーツ振興課長・教育総務課 藤原

4. 会議内容

(1) 開会あいさつ 教育長

(2) 前回議事録確認 全委員一致で承認

(3) 協議(報告)事項

各課長より資料により主要事業の進捗状況等の説明を行い、教育委員の意見を聞く。

①新たな教育改革に向けて(小中一貫教育のさらなる進展・英語教育)

(小学校英語にかかる教育スタイルの構築)

- ・小学校英語の指導を充実させるため、計画的な教員配置を行う予定です。
- ・英会話教材の精選を進めます。ALT と連携し、発音の指導をさらに充実させていきたいと考えています。
- ・『はば単』の活用とおの検定英語テキストについては、8月に教科書の採択が行われるので、その後に検討していきます。

(3歳児の幼稚園受入れ)

- ・3歳児の幼稚園の受入れは行わないという方向性が出ています。4、5歳児のクラス編成については2月初旬にかけて協議します。

(ペッパーの活用について)

- ・河合中学校、来住小学校、小野東小学校にペッパーを配置する予定でしたが、河合中学校については、小野中学校で2月初めの授業に使いたいという希望があるため、その授業が終わった後に移す予定です。

【意見】

- ・小学校で行っているフォニックスという教育方法は面白かったです。
→中学校の英語は昔からある構文から教えていく授業です。今後は小学校

- と中学校の英語の教師に交流を持たせることも考えています。
- 交流することによって、小学校の英語授業が中学校のようになってしまう可能性もあります。しばらく独立させていた方がいいのではないかと。
- ・来住小学校の授業を見学した際、「オンザフロア」か「アンダーザデスク」か分かりにくい所に物を置いていたので、もう少し丁寧に授業をした方がいいと思います。
 - ・教員はどのように配置するのですか。
→英語の免許を持っている方を中心に建設的な配置を考えています。
 - ・小学校の教員は全てを一人でやらなければならない。そうすると浅くなって無理が出てきてしまう。小野市は専科教員や教科担任を配置する方向でいきたいと考えています。
 - ・英語教育の勉強会に出席すると、多様な教材が出ていました。市場小学校の英語の先生はそういったところで学ばれたことを取り入れていると実感しました。教師が講習会に行くための費用に補助を出すなどしてもらいたいです。
 - ・ペッパーはプログラミング教育に使用しているのですか。
→プログラミングでペッパーに動作を指示したりします。失敗することもあります。かえって子供たちは興味を持って取り組んでいます。

②校務支援システムを運用した情報共有体制の強化と早期対応

- ・校務支援システムの利用が定着してきており、教職員同士のスケジュールの把握や学校の行事予定等も分かり、便利ですので今後さらに活用を進めていきます。
- ・いじめ、問題行動等の『4号報告』の報告件数と対応状況、休職教員の状況等を報告する。
- ・小中一貫教育の推進委員会は各中学校区で1月末から2月初旬にかけて推進委員会と運営協議会を行っていきます。
- ・教員の働き方改革については、部活動のガイドラインが徹底されています。3ノーデー（残業・会議・部活）を完全実施しています。
- ・1月8日に小野市人権教育研究大会を実施し、362名の教員と32名の来賓が参加しました。今回は同和教育にスポットライトを当てました。

【意見】

- ・人権教育大会で、自尊感情のプログラムを見ました。とてもいいと思うので各校で行ったらいいと思います。また、いろいろなブースを回るより、一つのブースでとどまって研究を聞いた方がいいと思いました。
→来年度から選んでもらうようにします。

- ・いろいろ見られたのはよかったです。今回はスクールカウンセラーの方や地域の方、市の子育て支援課の方が参加していたので、意見交換も活発だったし、周りの評判も良かったです。
→分科会形式にすることで相談できたのがよかったですと思っています。この形で続けていこうと思います。
- ・働き方改革については、ガイドライン通りにいっていますか。
→11月までの調査では、ほぼガイドライン通り活動しています。
- ・テレビニュースで部活動指導員増員の話が出ていました。国は1校あたり2名から3名の配置を考えているようです。
→1校あたり2名から3名は、人数的にも費用面でも無理があると思います。国の考えは、顧問の代わりを務められる人材を配置することなので難しいです。
→教育的な視野に立って生徒を指導できる方に来ていただきたいので、そういった人材を育てるのが大事です。部活は生徒指導の面があります。
- ・不登校対応について視察に来るということは、小野市の対応が進んでいるということですか。
→12月に報告したとおり、月ごとの欠席日数を学校から報告してもらっています。市が欠席状況を集中管理してアドバイスするのは珍しいです。また、子育て支援課と連携し、不登校の生徒の家を訪問したり、誘い掛けを行うことも珍しいです。
- ・そういったことをして効果はありますか。
→不登校の生徒数は増えています。ただ、何も対応をしないと引き籠ったまま大人になってしまいますので、定期的に訪問、誘い掛けすることは大切だと思っています。適応教室に通っていた生徒は、卒業後も適応教室に立ち寄ってくれますので、関わりを多くするほど子供が安心できる環境を作れると思います。
- ・不登校の生徒で、学校と密に連絡を取っており、生徒が帰った後に登校する子がいました。その生徒は高校が決まったことを中学校に報告に行ったというのを聞きました。そういった働きかけは効果があると思うので、先生の負担は増えてしまいますが続けてほしいです。
- ・学校のホームページの様式が統一され、よくなっていると思います。児童の写真掲載の許可はどうなっていますか。
→年度初めである4月に許可を取っています。また、写真の転用を禁じる文言を入れています。
- ・授業参観とオープンスクールの違いはなんですか。
→授業参観は保護者が中心で、オープンスクールは地域住民が自由に見学できます。行事の名称は学校が独自に決めています。廃品回収をエコ回収

と呼ぶなど分かりにくいという意見もあるので、今後考えていかなければならないと思います。

③学校施設長寿命化対策事業

- ・学校施設の長寿命化計画を業務委託した業者と共に作成しています。今週に入って計画案が提出されたので、チェックして、修正しています。
- ・小野南中学校長寿命化改良事業については、12月17日の検討委員会で、早急に現在の場所で現在の校舎を改修する要望書に校区内のすべての区長の同意印が揃ったことを報告するとともに、校舎等の改修計画についてのアイデアをいただきました。
- ・次回検討委員会は1月28日に開催予定で、要望書に対する回答について報告するとともに、改修計画で出ていたアイデアについて協議します。

【意見】

- ・小野南中学校の建設位置については、事前に地域の合意形成を図るなど、先を見通した対策がとられていると思います。

④学校施設整備事業

- ・河合中学校のトイレ改修工事は、男子トイレの小便器を取り換える工事で、1月21日に完成しました。
- ・大部小学校のトイレ改修工事は、南校舎の1階から3階のトイレの洋式化工事です。冬休み中に既設便器の撤去工事を終わらせ、1月は配管工事や土間のコンクリート工事を行っています。
- ・小野中学校のコンクリートブロック塀改修工事については、ブロック塀の撤去とフェンスの設置は完了しています。現状は写真のとおりです。

⑤堀井城跡整備事業

- ・グランドゴルフのコースを決定するため、グランドゴルフ関係者に意見を聞きました。

【意見】

- ・堀井城の一番のPR点はなんですか。
→平地に築かれた大規模な中世城郭の姿が残っている点です。冠木門、柵、土橋を整備します。
高齢者の生きがい創出と健康づくりを兼ねた拠点施設として、グランドゴルフ8コースと城内と堀にウォーキングロードを整備します。
- ・北側を芝生のグラウンドゴルフ専用コース、南側をクレーの多目的広場として、様々な世代が使えるエリアにする予定です。
- ・外堀土管理設工事はどんな工事ですか。

→県の総合治水条例で、1万㎡以上の開発には、雨が降った時の雨水を貯留する機能が必要であり、それに対応するための工事です。3月頃から工事に取り掛かりたいと考えています。

⑥コミセンおの移転事業

- ・平成31年度に移転先確定、長寿命化計画を策定し、平成32年度に実施設計を行う予定でしたが、実施設計業務を平成31年度に前倒しして行います。これは、福祉総合支援センターをコミセンおのへ改修するための実施設計です。
- ・現状、コミセンおのには47のサークルありますが、高齢化による会員数の減少に伴い、今後、サークル数が減る可能性があります。
- ・備品を置く倉庫等の確保が今後大きな課題になりそうです。コミセンおのには、サークルの備品、荷物や小野市地域づくり協議会の陣屋まつりやクリスマスイルミネーション等の備品が有り、今後、新コミセンおのへの移転に向けて検討していく必要があります。

【意見】

- ・和室は設けるのですか。
→和室と調理室は整備する方針です。

⑦図書館の将来ビジョン策定と改修工事

- ・カーボンマネージメント強化事業における空調・照明の工事は、H31年度予算案として上程されます。

【意見】

- ・図書館の利用者で多い世代は60代か小さいお子さんですか。
→そうですね。最近の若い方は、ペーパーの本よりもインターネットから情報を収集する傾向が強いです。
- ・2階に自習室がありますが、単なる自習室ではなく、図書館としての学習室があった方がいいと思います。
→自習室は利用率が高いのでニーズはあります。
- ・図書館の「えほんおみくじ」で運だめし”はどんな企画ですか。
→子どもにおみくじで引き当てたタイトルの絵本を読んでもらう企画です。
子どもの読書活動への動機づけになればと考えています。

⑧成人式

- ・1月14日に成人式を行いました。新成人449名に対し、保護者210名が参加されました。今後も保護者の参加は増えそうです。

【意見】

- ・成人式が、良い意味で保護者の同窓会になっている面もあるようです。
- ・学生時代に不登校だった生徒が成人式に参加していました。
- ・外国人の方に招待状を送ったのも良い試みだったと思います。同年代の人達とふれあう機会が得られて喜んでいました。

⑨学校保健体育事業の推進

- ・小学校でなわとび検定を実施していますが、昨年度より若干平均級が下がっています。成績の良かった市場小学校のジャンピングボードを使用する取組を紹介し、再度3学期に最終検定を行う予定です。
- ・小学5年生、中学2年生（8年生）を対象とした平成30年度全国体力・運動能力調査の分析結果を報告。
- ・5年生男子については、今回は非常に成績が良かったです。県平均を50m走以外すべて上回っており、全国平均も50m走と握力以外は上回っています。5年生女子についても、50m走と握力以外は県平均を上回っていますが、兵庫県は全種目で全国平均を下回っているため、全国平均を下回っている種目も多くなっています。
- ・8年生男子についても、ほとんど県平均を上回っています。過去5年間を見ても、県平均を下回る結果が多かったのですが、今年は県平均を上回ることができました。しかし、全国平均は下回っています。8年生女子については、平成29年度に全体的に悪くなりましたが、今年度は従来並みに戻りました。
- ・気になるのが運動嫌いの女子生徒の割合が、全国平均に比べて小野市は少し多いということです。全国的に女子の20%くらいは運動嫌いと言われていますが、小野市はそれを上回る21～25%となっています。体育の授業は学校の規律を作る役割もあり、規律を重視した集団行動を面白くないと感じる生徒もいると思いますが、体育の授業をただ楽しく運動するだけの時間にすることはできません。しかし、部活動のガイドラインにもあるように、昔ながらの体育の授業からは少しずつ脱却するとともに、授業以外でも楽しく運動できる場を作ることも考えていかなければならないと思います。
- ・今年は柔軟性の向上に取り組んできました。中学生はあまり変化がありませんでしたが、小学生男子は県・全国の平均を初めて上回り、女子も県平均を上回りました。小学校は、保健室に柔軟性を計測できる機器を置いたりしたので、小学生は興味を持って取り組んでくれた結果かと思います。取り組みの成果は表れているので、柔軟性の向上には来年度も取り組んでいくべきだと考えています。なお、柔軟性の測定から半年以上たっていますので、小・中学生全員を再測定し、1月末に取り組み結果を再検証する予定です。
- ・ひまわりカードについては、調査中なので結果が出たら報告します。

【意見】

- ・ 体育の授業の中で、基礎能力が上がるような運動は行っていますか。
→授業の最初には必ず補強運動を行っています。
- ・ 全国体力・運動能力調査で兵庫県の結果がいつも悪いのはなぜですか。
→明確な理由は解明していません。
- ・ 全国体力・運動能力調査の結果は体育の先生に共有されるのですか。
→結果は全ての学校に送られています。
- ・ ダンスは体育の授業でどのくらい行っているのですか。
→年間10～12時間程度です。
- ・ ダンスの先生が教えているのですか。
→中学校は体育の先生が教えています。
- ・ 小野中学校の体育祭でヨガを取り入れていたのが良かったです。

⑩小野ハーフマラソン2018

- ・ 第5回大会の結果を報告する。
- ・ 第6回大会の日程については、例年12月の1週目に開催していましたが、2週目の12月8日（日）で調整中です。12月1日（日）は大阪マラソンの開催が決まっており、警備員の確保や大阪からの参加者数の減等を総合的に考えた結果、12月8日となりました。12月8日に開催した場合、西脇のマラソンと同一週になりますが、西脇の実行委員会にも事前連絡を入れております。これまで小野、西脇両方に参加していた方もいますし、西脇は公認のコースでもあるので、参加を迷うランナーが若干いるかもしれません。

⑪スポーツ振興課情報

- ・ 市内インフルエンザの罹患状況は、本日（1月25日）現在で、小学生52人、中学生30人となっており、旭丘中学校区の児童・生徒が一番多くなっています。学級閉鎖は旭丘中学校の1クラスのみです。
- ・ 全国都道府県対抗駅伝競走大会の結果を報告する。
- ・ 北播小学生駅伝カーニバルについては、5年生男女、6年生男子で小野市が優勝し、6年生女子は小野東小学校が2位となりました。2か月前くらいからトレーニングをしている成果が発揮され、非常によく頑張ってくれました。
- ・ 2月23日の小野市スポーツ賞表彰式ですが、井上増吉賞は田中希実さん、野上恵子さんです。野上さんは、スポーツ賞の表彰規定では、井上増吉賞には該当しないのですが、市長とも相談し、小野市出身選手が、アジア大会という権威ある国際大会で2位という成績を残せることは滅多にないということで、表彰することにしました。

【意見】

- ・北播小学生駅伝の結果は素晴らしいですね。
→大会に北播の全ての学校が参加しているわけではないですが、小野市は駅伝に熱心に取り組んでおり、その成果は全国体力・運動能力調査の全身持久力の高さにも繋がっていると思います。

(4) 次回定例教育委員会予定

2月27日(水) 13時30分 205号室

(5) 閉会あいさつ 教育長